

第9回 きょうと地域福祉活動実践交流会

11月30日(火)、京都府内で地域を支える活動をされている団体、活動者の交流・活動発表が、オンライン会議システム・zoomを利用して行われました。

講演では、東京都立大学人文社会学部准教授 室田信一氏が、「地域づくりの『いろは』から想像する新しいつながりの創造」と題してお話しされました。



京丹波町からは、18名の活動者が参加し、実りある意見交換が行えました。

京都府内の各地域の活動を聞き、自分の地域でも当てはまることや、参考に出来る事などをグループに分かれて意見交換を行いました。「コロナ禍で活動が難しい中、他の地域の活動を聞くことができ、前向きになりました。」という声もあり、良い機会になりました。

～参加者からの感想～

- 住民への声掛けが改めて大事なことだと思いました。
- 普段からのコミュニケーションを大切にすることを心がけていきたい。
- 人との繋がり、地域の繋がりって大切だと思いました。
- これからもお互いに支え、支えてもらいながら頑張りたく思います。



なごみ会交流会

なごみ会…視覚和知会、ガイドヘルパー「みちづれ」、朗読ボランティア「こだま会」の3つのグループによって構成され、年1回の交流会を開催しています。

12月3日(金)、毎年恒例の交流会が開催され、今年は新しく完成した新庁舎を見学されました。役場の方から、町内の木材が使用されている事や、その木材を地元業者が加工出来るよう新しい技法が使われている事などを説明頂き皆さんは熱心に聞いておられました。その後庁舎内を案内して頂き質問されながら手で柱や壁を触り木の温もりを確認され、真新しい木の香りを楽しまれました。

参加された方は「普段は入れない部屋まで見学できこんな機会はめったにない。参加し色々見れて、触れて良かった。」と話されていました。視覚和知会の大田公子さんは「朗読ボランティアさんが町広報誌を朗読してくださるお陰で新庁舎が完成した事を知れ、ガイドヘルパーさんのお陰で見学に来れた。」と喜んでおられました。



🎤 ボランティアインタビュー 64



ふくい せつこ
福井 節子さん

押し花カード作りボランティア 天花(てんか)
和知地区で生まれた赤ちゃんへのお誕生カードや亡くなられた方へのお悔みカードなどを作成されています。



Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

5年ほどの主人の父の介護の後、空いた時間に近所の方のすすめで押し花の教室に通い始め、その後しばらくしてからボランティア活動としてもやってみない？と誘われたのがきっかけでした。

Q2 ボランティアをされていて良かった事は何ですか？

日ごろお世話になっている恩返しが少しでも出来ていると感じ、気持ちが安らぎます。一緒にカードを作り交流する仲間の存在も嬉しいです。

カードが人の手に渡ったとき、喜んでもらう姿を想像して作っています。

Q3 あなたにとってボランティアとは？

誰かに喜んでもらえたら、自分自身の楽しみにもなる。少しでも役に立てたら嬉しいです。

お問い合わせ
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課 (榎川・山崎・野間)
丹波支所 ☎82-0126 和知支所 ☎84-1833